

- 1 主題名 校風を守り育てる心 高4-(6) 【先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる】
資料名 ひるがえる校章旗 (教育同人社)

2 主題について

○ このような価値の追求を

本主題は、学校や学級の集団とのかかわりに関するものであり、先生や学校の人々を敬愛し、学校を愛する心をもった子どもを育てることを意図した内容項目である。

学校は、取り巻くすべての人・もの・ことがお互いに影響し合い、つくられている。長い年月をかけ、独自の個性を作り出し、それがよい伝統として受け継がれていき、校風となっていく。その校風がさらに発展するには、学校の子ども、教師一人一人の絶え間ない努力が必要である。そのためには、子ども一人一人が校風を担っている自分の役割を自覚し、みんなですばらしい学校をつくっていかうとする態度を養うことができるようにしなければならない。また、自分の学校には胸を張ることのできる伝統があることに気付き、その伝統を受け継ぐことのすばらしさを感じることも、校風を発展させるために必要である。

この段階においては、一人一人が小学校の最高学年としての自覚をもち、学校を愛する心を具体化する指導を心がける必要がある。特に、学校の一員としての自分の役割を自覚し、みんなで協力して自分たちの学校をよりよくしようとする心を育て、よりすばらしい校風をつくるために積極的に取り組む態度を養い、具体的に実践できるよう指導することが大切である。そうすることで、校風を担っている自分への気付きと先生や学校の人々への敬愛の念が一層深められていく。

そこで、本主題では、自分たちの学校には胸を張ることのできる伝統があり、その校風の中で自分たちが育まれてきたことに気付かせたい。そして、その伝統を受け継ぎ、よりよい校風を守り育てていかうとする意欲を高めていきたい。

○ このような子ども達だから

本学級の子ども達は、5年生だった昨年度の2月、6年生と「引継の授業」を行い、〇〇小学校のよさを受け継いでいくことの大切さに気付き、6年生の仕事や思いを自分達が受け継いでいかうという意欲をもつことができた。6年生になってからは、委員会・クラブ活動、縦割りグループ等でのリーダー活動、1年生の世話だけでなく、〇〇小学校ならではの毎日の国旗・校旗の掲揚、朝のボランティア活動などに取り組んでいる。朝の運動の後に全校児童の前で行う国旗・校旗の掲揚は、責任をもって堂々で行うことができるようになってきた。朝のボランティア活動は、活動の人数や活動する時間がだんだん増えてきている。リーダー活動では、自分達の創意工夫を生かした活動になるよう、努力する姿が見られるようになってきた。

そこで、みんなで協力して自分たちの学校をよりよくしようとする心が育って来ているこの時期に、自分たちの学校のよさや、それを校風として守り続けていること、そして、これからも受け継いでいくことの大切さを考えていくことは意義深い。

○ 資料をこのように活用して

本時の中心資料「ひるがえる校章旗」は、3学期の校章旗の当番をすることになった信二が主人公である。友達の実と協力して、当番の仕事をがんばっていた信二が、寒さが厳しくなってくると、仕事を引き受けたことを後悔するようになってくる。誰かに代わってもらうことを先生に言おうとして何日かが過ぎたある日、信二と実は偶然この学校を卒業した若い男の人に出会った。その人も校章旗の当番をしていたことや、今も校章旗を見るとなんだか力がわいてくるなどを聞き、信二は胸が熱くなり、卒業の日まで校章旗の当番を続けようとする内容である。

指導にあたっては、まず、校章旗を見てくれる人がいると知って胸が熱くなった信二の気持ちを共感的にとらえさせたい。次に、学校の伝統を受け継ぐために大切な心について、中心資料や自分の経験をもとに考えさせ、ねらいとする道徳的価値の把握を図りたい。

そして、自分の生活の中で、学校の伝統を受け継いで仕事をしたことやそのときの気持ちを振り返り、道徳的価値の内面的自覚を図りたい。

3 本時のねらい

自分たちの学校には胸をはることでできる伝統があり、その校風の中で自分たちが育まれてきたことに気づき、よりよい校風を守り育てていこうとする態度を育てる。

4 本時指導について

学校の諸活動との関連事前	ねらい	〇〇小学校で受け継がれてきた仕事に自分がどのような態度で取り組んでいるかということに気付かせる。
	手だて	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6年生になって、学校のためにがんばっていることやがんばってきたことのアンケートをとる。 ○ 「すてきな心を見つけよう」で、自分達の活動のよさを記述させる。

発達段階に応じた語り合い【心がわかる】	ねらい	学校の伝統を受け継ぐためには、学校がいろいろな人に見守られていることや一人一人が学校の伝統を守り育てていこうとすることが大切であることに気付かせる。
	内容	学校の伝統を受け継ぐために大切な心について
	手だて	<ul style="list-style-type: none"> ○ ネームカードの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 胸が熱くなった信二の気持ちについてまとめられた板書をもとに伝統を受け継ぐために大切な心についての一人一人の考えが全体に分かるようにネームカードを板書に位置付ける。 ○ 全体での語り合い <ul style="list-style-type: none"> ・ 語り合いが深まるように、ネームカードや道徳ノートの記述をもとに意図的指名をする。 ・ 前の人発言を受け、資料の登場人物の行動や気持ち、考え方の変容や、自分の経験をもとに発言するよう助言する。

いきいきとした振り返り【心はたたく】	ねらい	学校の伝統を受け継いだ仕事をしたことやそのときの気持ちを振り返る。
	関連する諸活動とその内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国旗・校旗の掲揚 <ul style="list-style-type: none"> → 国旗校旗の掲揚を6年生から受け継いだ時は、身が引きしめる思いがしたな。今では校旗や国旗が揚がっているのを誇らしく思う。 ○ 委員会活動・クラブ活動・縦割り掃除等でのリーダー活動 <ul style="list-style-type: none"> → リーダーとして活動することは大変なことも多いが、喜びも大きい。よりよい学校をめざし、これからも委員会の仕事をがんばりたい。 ○ 朝のボランティア活動 <ul style="list-style-type: none"> → 朝のボランティア活動は、ずっと伝統的に受け継がれてきたものだ。このすばらしい伝統を、これからも続けていきたい。そして、他の学年にも声をかけて、ボランティアの輪を広げたい。
	手だて	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもが互いの経験を聞き合うことができるよう、近くの人と振り返りを話す時間をとる。また、子どもが多様な経験を聞くことができるよう、経験したことの違いに応じた異質グループを意図的に作る。

5 準備

資料「ひるがえる校章旗」（教育同人社） 道徳ノート 挿し絵
 ネームカード 引継の授業のときの感想文 卒業生のビデオ


6 展 開

段階	主な学習活動と内容	教師の支援や手だて	期待する子どもの反応・発言
心 が う ご く	<p>1 提示された資料をもとに、5年「引継の授業」や「引継式」を想起し、本時学習のめあてについて話し合う。</p>	<p>○ 昨年度6年生と合同で行った「引継の授業」や「引継式」での自分の思いを想起させるために、授業で書いた感想文を読ませる。</p>	<p>○ 提示された資料に関わることや自分の経験について、発言したり、友達の発言にうなずいたりしている。</p>
	<p>めあて 学校の伝統を受け継ぐためにはどんな心が大切か考えよう。</p>		
心 が わ か る	<p>2 資料「ひるがえる校章旗」を通して、学校の伝統を受け継ぐ心について話し合う。</p> <p>(1) 教師の範読を聞く。</p> <p>(2) 校章旗を見てくれる人がいると知り胸が熱くなった信二の気持ちについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>校章旗を見てくれる人がいると知って胸が熱くなった信二はどんなことを考えているでしょう。</p> </div> <p>(3) 学校の伝統を受け継ぐために大切な心について考え、語り合いをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学校の伝統を受け継ぐためにはどんな心が大切でしょう。</p> </div> <p>①ネームカードを黒板に位置付ける。 ②道徳ノートに書く。 ③全体で語り合う。</p>	<p>○ 自分達の仕事を温かく見守ってもらっていることや伝統を受け継ぐことのすばらしさに信二が気付いたことをとらえさせるため、信二の気持ちの変容を中心に考えさせ、発表させる。その発表を構造的に板書する。</p> <p>○ 一人一人の考えが全体にわかるよう、ネームカードを板書に位置付ける。</p> <p>○ ねらいとする道徳的価値の追求をさせるため、板書や自分の経験をもとに伝統を受け継ぐときに大切な心について考えさせ、道徳ノートに記述させた後、全体で語り合いをさせる。</p> <p>○ 語り合いが深まるようにネームカードや道徳ノートの記述をもとに意図的指名をする。</p>	<p>○ 主人公の気持ちを共感的にとらえながら発言したり、友達の発言を聞いたりしている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>主人公の気持ちになりきって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校章旗の仕事はいろいろな人に見守られている。 ・先輩も、校章旗を一生懸命あげていたのだな。 ・すばらしい伝統を後輩達にも伝えたい。 ・この伝統を自分が守っていききたい。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>資料や経験を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校はいろいろな人に見守られていることに気付く心が大切だ。 ・学校の仕事は代々受け継がれてきたものだから、一人一人ががんばろうと思う心が大切だ。 ・よい伝統を後輩に引き継いで行く心が大切だ。 ・学校を好きで、学校のために自分が何かをしようと思う心が大切だ。 </div>
	心 が は た ら く	<p>3 学校の伝統を受け継いで仕事をしたことやそのときの気持ちを振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学校の伝統を受け継いだ仕事をしたときのことやそのときの気持ちを振り返りましょう。</p> </div> <p>4 卒業生のお話を視聴し、今後の生活への意欲をもつ。</p> <p>○ 学校に対する卒業生の温かい思い</p>	<p>○ 子どもが自分達の経験を互いに聞き合うことができるよう、近くの人と振り返りを話す時間をとる。また、子どもが多様な経験を聞くことができるよう、経験したことの違いに応じた異質グループにする。</p> <p>○ 伝統ある学校のよさを感じさせるため、学校に温かい思いを寄せる卒業生のビデオを視聴させる。</p>

7 板書計画

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for writing lesson plan notes.

8 道徳ノート

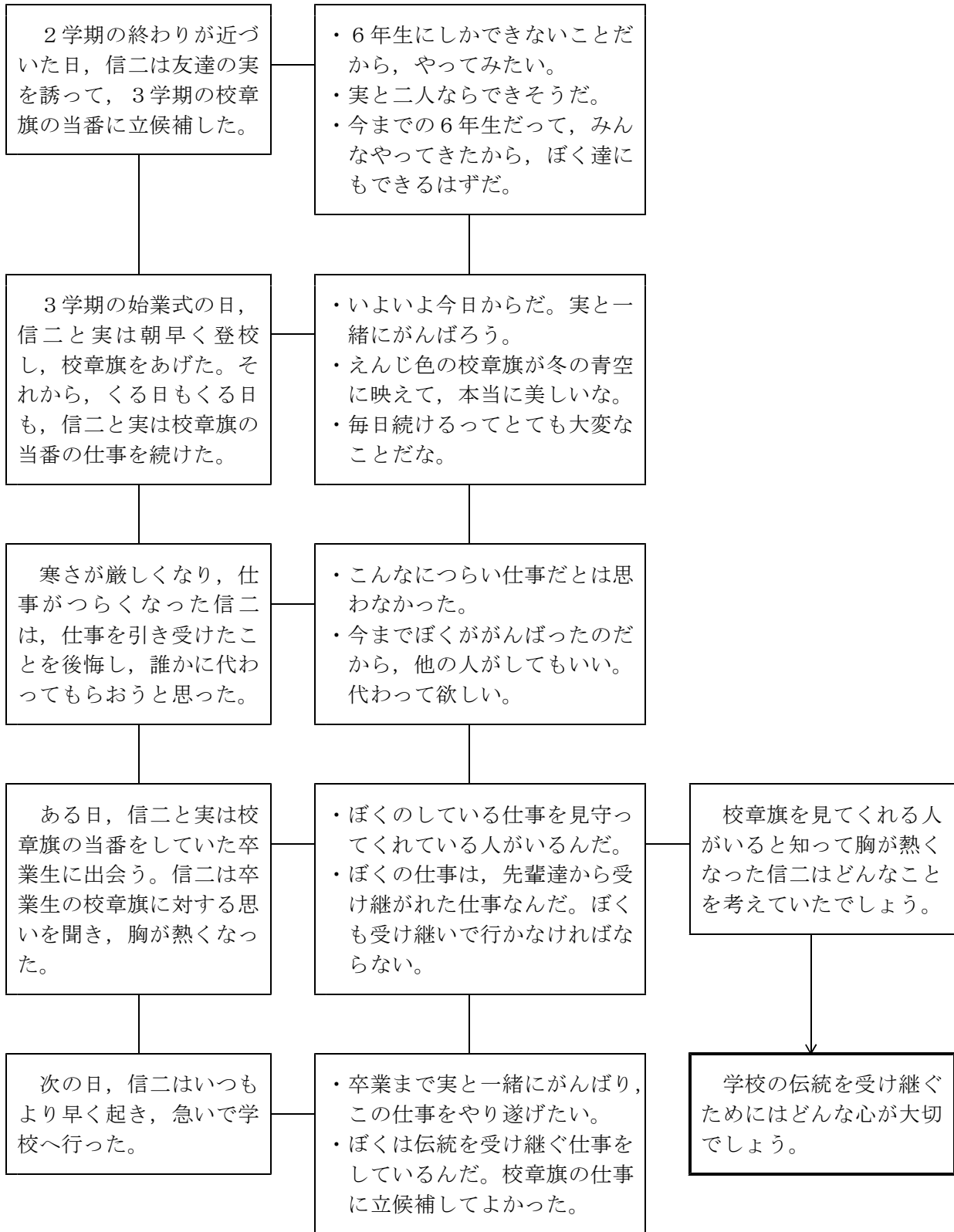
A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for writing moral notes.

9 資料分析

[場面]

[人物の気持ち]

[主な発問]



<p>- 2 -</p>	<p>- 1 -</p>
<p>- 4 -</p>	<p>- 3 -</p>